



親子交流は親のためではなく子どもの成長のために行うものです。父と母という立場で子どものためにお互い補い合い協力して行いましょう。子どもにとってはどちらも大切な親なのでから子どもの幸せを願って続けましょう。親子交流で困ったことがあれば担当者にご相談ください。



# 親子交流のしおり

—子どもが中心の親子交流—

子どもと離れて暮らしている親が子どもと定期的に会って話をしたり一緒に遊んだりすることを親子交流といいます。

親子交流が継続してうまく行われていると子どもはどちらの親からも愛されているという安心感を得て、健やかな成長へとつながります。



名古屋ファミリー相談室

## ◎ご両親へ

### 親子交流の日にちや場所を決めるときは

子どもの体調、スケジュールを考えて無理のない時間や場所を決めて、子どもが喜んで会えるようにしましょう。

### 親子交流の約束は守りましょう

事前に取り決めた親子交流の約束事は守りましょう。急な事情による日いちの変更などは早めに担当者にご連絡ください。

### 夫婦の争いや悪口を言わないようにしましょう

子どもにとって夫婦の争いや親の悪口を聞かされるのは辛いことです。

子どもがどちらの親についても良いイメージを持つことが大切です。

## ◎子どもと離れて暮らしている方へ

### 子どもが楽しく過ごせるようにしましょう

一緒に暮らしている親との生活の様子をしつこく聞かれると子どもの気持ちは重くなります。

子どもが関心を持っていることなど楽しい話題を選んで、あなたは聞き役になりましょう。

### 高価なプレゼントや行きすぎたサービスはやめましょう

贈り物で子どもの関心をひくことは、子どもの健全な成長の面から好ましくありません。

### 子どもと勝手に約束しないようにしましょう

一緒に暮らす親に相談することなく子どもと約束することは子どもを不安にさせ、親同士の新たな紛争のきっかけとなる場合があります。

子どもと  
会う時に



## ◎子どもと一緒に暮らしている方へ

### 子どもの様子で伝えたいことがあれば

子どもの健康状態や特に相手に知らせておきたいことがあれば担当者にお伝えください。

### 子どもが「会いたくない」と言うときは

優しく理由を聞いて担当者にご相談ください。

### 子どもが親子交流をする前には

子どもは親の気持ちや表情に敏感です。あなたの表情やしぐさから、離れて暮らす親に会うのをうしろめたく思うことがあります。子どもを笑顔で送り出しましょう。

### 子どもが親子交流を終えたら

子どもはあなたに気を使って重たい気持ちで帰ってくるかも知れません。笑顔で温かく迎え交流のことを細かく聞くことはやめましょう。また、交流でいやな思いをしたような場合はそれとなく受けとめてあげましょう。

ふだんの生活

交流の前に

交流の後に